
今後のスケジュール

令和6年9月4日
復興・総合計画課

1 今後のスケジュール

9月 4日 第1回地域創生・人口減少対策有識者会議

10月 9日 人口減少危機対策セミナー

11月21日 第2回地域創生・人口減少対策有識者会議、現地調査【伊達市】

12月 「人口ビジョン」の更新

1月 次期「総合戦略」に関するパブリックコメント

2月 第3回地域創生・人口減少対策有識者会議

3月 次期「総合戦略」の決定

2 現地調査（伊達市）【11月21日】※調整中

地域での取組を視察し、今後の地域創生・人口減少対策の議論の参考とする。

概要

- 1 日程 11月21日（木）午後
- 2 場所 伊達市（①U-プレイス伊達 ②まちの駅だて）
- 3 視察先概要
伊達市において、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）活用し、令和5年度に整備された施設。

①U-プレイス伊達

高子駅北地区に多世代が交流可能な施設と移住希望者向けのお試し居住施設等を備えた全世代・全員活躍のまちづくりの拠点となる施設として整備。



②まちの駅だて

商店街に隣接した位置する場所にオープンスペース、ふれあいテラス等を整備し、多世代が交流できる施設として整備。



福島県人口減少危機対策セミナー

福島県の総人口は1998年の約214万人をピークに減少し続けており、今年7月の推計では約175万人となっています。国の推計においては、2050年に125万人まで減少すると予測されています。

この危機的で急激な人口減少の現状を改めて認識し、将来に向けて官民一体で対応していくため、(株)ニッセイ基礎研究所の天野人口動態シニアリサーチャーによる講演や、内堀福島県知事と企業経営者等によるパネルディスカッションを開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

参加
無料
事前申込制

日時 令和6年10月9日(水) 13:15~16:00

場所 コラッセふくしま 4階 多目的ホール(会場定員:288名)
(福島市三河南町1-20)

オンライン同時開催

プログラム

第1部 基調講演

(13:25~14:45)

「福島の企業が福島県の未来を救う—四半世紀で出生数半減はなぜ起こったのか—」

講師：天野 馨南子 氏

株式会社ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャー



1995年 東京大学経済学部卒。1995年日本生命保険相互会社入社、1999年から同社シンクタンクに出向。日本証券アナリスト(CMA)。専門分野は人口動態に関する社会の諸問題(特に少子化対策、一極集中、女性活躍推進分野)。内閣府少子化関連・共同企画関連の有識者委員、地方自治体・経済団体等の人口関連施設アドバイザーを務める。エビデンスに基づく人口問題(少子化対策・人口動態・女性活躍・ライフデザイン)講演実績多数、近著「まちがいだらけの少子化対策」(2024年・金融財政事情研究会)。

第2部 パネルディスカッション

(14:55~16:00)

人口動態から見た「若者に選ばれる福島を目指して」

【パネリスト】

○福島県	知事	内堀 雅雄
○(株)ニッセイ基礎研究所	人口動態シニアリサーチャー	天野 馨南子 氏
○(株)クリフ	代表取締役	石山 純恵 氏
○須賀川瓦斯(株)	代表取締役社長	橋本 直子 氏
○福島日産自動車(株)	代表取締役	金子 與志幸 氏

お申し込み方法

以下のフォームからお申込みください。

(福島県かんたん申請・申込URL)

申込締切 令和6年9月30日(月) 17:15

※定員に達した場合、申込を早期に締め切る場合があります。

※オンライン参加の場合も申込みが必要です。

後日、配信URLをメールにてお送りします。



会場案内



○JR福島駅西口より徒歩3分

○コラッセふくしま有料駐車場(30分まで無料、以降30分毎100円)

※公共交通機関でのご来場にご協力ください

主催 福島県、日本生命保険相互会社
共催 東京海上日動火災保険株式会社、株式会社東邦銀行、野村證券株式会社
協力 公益財団法人東北活性化研究センター
問い合わせ先 福島県復興・総合計画課 電話 024-521-7809 メール sougoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp

パネリスト紹介

福島県知事



うちぼり まさお
内堀 雅雄

(株) ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャー



あまの かなこ
天野 馨南子 氏

司会 フリーアナウンサー おの みき 小野 美希 氏



福島県会津若松市出身。大学卒業後NHK和歌山放送局、その後、テレビユー福島にアナウンサーとして入社。東日本大震災・原発事故など、約15年間ニュースキャスターを務める。

株式会社クリフ 代表取締役 石山 純恵 氏



福島県福島市出身。多言語翻訳、研修企画実施を事業主体とする「クリフ」を設立。シングルマザーとして2児の子育てをしながら、女性起業家として新事業に取り組み、全国商工会議所女性起業家大賞最優秀賞を受賞。震災・原発事故後は子育て支援事業を展開、国際機関会議の翻訳や議事録作成、福島県産品の安全・安心PR事業を全国的に発信。企業や医療機関での女性活躍プロジェクトを推進。福島12市町村(被災地)への移住定住事業を展開。2022年岸田首相が主催する第6回国際女性会議WAW! 2022ボードメンバーに地方初、選出。

須賀川瓦斯株式会社 代表取締役社長 橋本 直子 氏



福島県須賀川市出身。立教大学在学中に渡英、2004年より約8年間イギリスにて生活。ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)にて都市開発を学び、修士号を取得後、英国ルイ・ヴィトン社に入社。2011年の東日本大震災をきっかけに日本に帰国、須賀川瓦斯株式会社に入社。地元福島で太陽光発電事業に参入、その後エネルギーの地産地消を目指して2015年に電力小売事業を立ち上げる。「地域を支えるインフラ企業として、全社員の幸福の実現と、地域社会の発展に寄与する」という経営理念を掲げ、取締役副社長を経て2018年より代表取締役社長を務める。

福島日産自動車株式会社 代表取締役 金子 與志幸 氏



福島県福島市出身。県立福島高等学校、明治大学を卒業後、2010年に福島日産自動車株式会社に入社。創業の原点は、養蚕業の蚕種卸販売からスタートしているのが同社の特徴。同社専務を経て、2022年に四代目社長に就任。人口減少、ガソリンスタンド減少など事業環境が大きく変化する中、EV車の普及促進や、「フクニチャージ」という造語※も作り、CMやイベント活動、チャリティなど積極的に展開。4月に浪江町で入社式を開催、2025年には「なみえEVパーク」を駅前設立するなど地域貢献も積極的に取り組む。

※フクニチ(福島日産の略称)+チャージで、福島日産の電気自動車事業の総称。さらに福島日産が提供する商品やサービスにより「福島に元気をチャージする」という意味が込められている。